

安全データシート(SDS)

1、化学物質等及び会社情報

製品名	:水溶性チェーンソーオイル
製品コード	:SC-1N,1K,4K
会社名	:大澤ワックス株式会社
住所	:〒451-0045 名古屋市西区名駅2丁目27番8号 名古屋プライムセントラルタワー8階
電話番号	:052-414-4010
FAX番号	:052-414-4018
E-MAIL	:info-center@boll.co.jp
緊急連絡電話番号	:052-414-4010
製品の推奨用途及び使用上の制限	:潤滑剤
改訂日	:2024年7月8日

2、危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

引火性液体	区分3
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
発がん性	区分2
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(血液系、呼吸器、肝臓、腎臓) 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(自律神経系、血液系)
吸引性呼吸器有害性	区分1

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語 危険有害性情報

危険
引火性液体及び蒸気
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器(血液系、呼吸器、肝臓、腎臓)の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による臓器(自律神経系、血液系)の障害のおそれ
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱後は手をよく洗うこと。

【応急措置】

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用し

ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。
特別な処置が必要である(応急措置の項目を見よ)。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
火災の場合:消火するために霧状強化液、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、ハロゲン化物を使用すること。
【保管】 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉し、涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
【廃棄】 内容物/容器を国/都道府県など自治体の規則に従って廃棄すること。

3、組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

成分及び含有量(wt%):

化学名	化管法官報公示番号	CAS No.	含有量(質量%)
潤滑油基油	非公開	非公開	90%
非イオン活性剤	既存化学物質	非公開	10%
陰イオン活性剤	既存化学物質	非公開	
シクロヘキサノール	3-2318	108-93-0	
エチレングリコールモノ・n・ブチルエーテル	2-407	111-76-2	
モノエタノールアミン	2-301	141-43-5	
鉱油	既存化学物質	非公開	
石油系溶剤	既存化学物質	非公開	

4、応急措置

眼に入った場合: 清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移す。体を毛布等でおい、保温して安静を保ち、必要であれば医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合: 無理に吐かせないで、速やかに医師の手当を受ける。
口の中が汚染されている場合は、水で十分洗うこと。
予想される急性症状並びに: 飲み込むと下痢・嘔吐する可能性がある。
最も重要な徴候及び症状 眼に入ると炎症を起こす可能性がある。
皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。
ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。
応急措置をする者の保護: 現在のところ有用な情報なし。
医師に対する特別注意事項: 現在のところ有用な情報なし。

5、火災時の措置

適切な消火剤: 霧状の強化液、粉末、炭酸ガス、泡が有効である。
初期の火災には、粉末・炭酸ガス消火剤を用いる。
大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。
使ってはならない消火剤: 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
火災時の特定危険有害性: 現在のところ有用な情報なし。
特定の消火方法: 火元への燃焼源を断つ。
周囲の設備等に散水して冷却する。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消化を行う者の保護: 消化作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。

6、漏出時の措置

人体に対する注意事項: 作業の際には、消火用保護具を着用する。
環境に対する注意事項: 下水道・河川等に排出されないよう注意する。
海上の場合、薬剤を用いる場合には、国交省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
回収・中和並びに封じ込め: 周辺の着火源を速やかに取り除く。
及び浄化の方法・機材 少量の場合は、土砂、ウエス等に吸収させ回収しその後完全にウエス等で拭き取る。
大量の場合は、漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。

爆発限界: 下限:1容量% (推定値)
 上限:7容量% (推定値)
蒸気圧: データなし
蒸気密度: データなし
密度(15°C): データなし
溶解性: 水に対して不溶
オクタノール/水分配係数: データなし
初留点: データなし
流動点: データなし

10、安定性及び反応性

安定性: 通常の条件では安定。
反応性: 強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
混触危険物質: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質。
危険有害な分解生成物: 燃焼の際には一酸化炭素中毒等が発生する可能性がある。

11、有害性情報

【潤滑油基油(鉱油)】

製品の危険有害性区分については、混合物の分類基準に基づいて分類を実施した。

急性毒性(経口)

区分外 LD50 > 5000mg/kg (ラット)

急性毒性(経皮)

区分外 LD50 > 5000mg/kg (ラット)

急性毒性(気体)

分類対象外

急性毒性(蒸気)

分類対象外

急性毒性(粉塵ミスト)

区分外 LC50 > 5mg/L (ラット 4h)

皮膚腐食性/刺激性

区分外 長期間又は繰り返し接触した場合には、皮膚脱脂による皮膚炎を起こす可能性があるので注意すること。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分外 ウサギによる複数の眼刺激試験において眼刺激性に区分する結果は得られていない。

呼吸器感作性

分類できない

皮膚感作性

区分外 ビューラーテスト(モルモット)により皮膚感作性なしとの結果である。

生殖細胞変異原性

区分外 広範囲な変異原性試験(in vivo 及び in vitro)が実施されているが、大部分の結果から、変異原性を示す結果は得られておらず、生殖細胞変異原性なしと判断する。

発がん性

区分外 使用されている基油は、高度精製基油(IP346法によるDMSO抽出物量3%未満)であり、IARCでは、グループ3(ヒトに対して発がん性について分類できない)に分類され、ACGIHでもほぼ同様の分類がなされている。EUによる評価では発がん性物質としての分類は適用される必要はない。

生殖毒性/授乳への影響

区分外/区分外 ラットによる発育毒性及び生殖毒性試験から得られた知見により、これら毒性示す結果は得られておらず、生殖毒性なしと判断する。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分外 急性試験による各種特定臓器への単回ばく露毒性は認められていない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分外 経皮及び吸入投与による4週間から2年間の反復毒性試験を行ったが、全身に対する影響は確認されなかった。

誤えん有害性

区分外

【乳化型洗浄剤】

急性毒性(経口)

(シクロヘキサノール 区分外 ラット LD50=2060mg/kg)
(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分4 ラット LD50=1746mg/kg)
(モノエタノールアミン 区分外 ラット LD50=3320mg/kg)
(鉱油 区分外 ラット LD50>5000mg/kg)
(石油系溶剤 区分外 ラット LD50>5000mg/kg)

急性毒性(経皮)

(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分2 ウサギ LD50=135mg/kg)
(モノエタノールアミン 区分3 ウサギ LD50=1000mg/kg)
(鉱油 区分外 ラット LD50>5000mg/kg)
(石油系溶剤 区分外 ウサギ LD50>2000mg/kg)

急性毒性(吸入:蒸気)

(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分2 ラット 4hLC50=雄2.4/雌2.2mg/L)

急性毒性(吸引:ミスト)

(鉱油 区分4 ラット LC50=2.18mg/L)
(石油系溶剤 区分外 ラット LC50>5.28mg/L)

皮膚腐食性・刺激性

(シクロヘキサノール 区分外)
(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分2)
(モノエタノールアミン 区分1A)
(鉱油 区分外)
(石油系溶剤 区分2)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

(シクロヘキサノール 区分1)
(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分2A)
(モノエタノールアミン 区分1)
(鉱油 区分2B)
(石油系溶剤 区分外)

呼吸器感作性

(モノエタノールアミン 区分1)
(鉱油 区分外)
(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分外)

皮膚感作性

(モノエタノールアミン 区分1)

生殖細胞変異原性

(シクロヘキサノール 区分外)
(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分外)
(モノエタノールアミン 区分外)
(モノエタノールアミン 区分外)(鉱油 区分2)(石油系溶剤 区分外)
(鉱油 区分2)
(石油系溶剤 区分外)

発がん性

(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分外)
(鉱油 区分外)
(石油系溶剤 区分2)

生殖毒性

(シクロヘキサノール 区分2)
(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分2)
(モノエタノールアミン 区分2)

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

(シクロヘキサノール 区分3 気道刺激性、麻酔作用)
(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分1 中枢神経系、血液、腎臓、肝臓)
(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分3 気道刺激性)

(モノエタノールアミン 区分1 神経系、肝臓)
(鉱油 区分2 肺)
(石油系溶剤 区分3 気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

(シクロヘキサノール 区分1 自律神経系)
(エチレングリコールモノブチルエーテル 区分2 血液)
(モノエタノールアミン 区分1 神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器)
(鉱油 区分2 肺、皮膚)

吸引性呼吸器有害

(シクロヘキサノール 区分外)
(鉱油 区分1)
(石油系溶剤 区分1)

12. 環境影響情報

【潤滑油基油(鉱油)】

製品の危険有害性区分については、混合物の分類基準に基づいて分類を実施した。

水生環境有害性 短期(急性)

区分外

水生環境有害性 長期(慢性)

区分外

オゾン層有害性

分類できない

生態毒性・魚毒性

ファットヘッドミノール 96時間 LL50 > 100mg/L

ファットヘッドミノール 14日間 NOEL > 100mg/L

生態毒性・無脊椎動物毒性

甲殻類(オオミジンコ)48時間 EL50/NOEL > 10,000mg/L

甲殻類(オオミジンコ)21日間 NOEL > 10mg/L

生態毒性・藻類毒性

セテナストルム NOEL > 100mg/L

残留性・分解性

生分解試験結果は31%(28日間)であることから、本質的生分解性を有するが、易生分解性でないと判断する。

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

類似基油のlog KOCは3以上と推測され地表で漏出した油は土壤に吸着されることにより地下水へ流出することは考えにくい。

【乳化型洗剤】

水生環境有害性(急性)

区分2の成分を含むが、加算法により区分外とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

事業者は残余廃棄物を自ら処理するか又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者若しくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

焼却する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害又は損害を及ぼす恐れのない方法で行うこと。その燃えがらについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令に定められた基準以下であることを確認しなければならない。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、廃棄物処理法及び関連法規並びに地方自治体の基準に従い処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号: 情報なし

品名(国連輸送名): 情報なし

国連分類: 情報なし

容器等級: 情報なし

輸送の特定の安全対策及び条件: 容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。

引火性液体なので「火気厳禁」。

指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合は、総務省令で定めるところにより、当該車両に標識を掲げる。

また、この場合、当該危険物に該当する消火設備を備える。

運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。

第一類及び第六類の危険物及び高压ガスを混載しない。

その他関係法令の定めるところに従う。

国内規制

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

国内法令:

消防法: 危険物 第4類第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性

労働安全衛生法: 通知対象物、通知対象物

海洋汚染防止法: 油分排出規制(原則禁止)

化学物質管理推進法(PRTR法): 非該当

下水道法: 鉱油類排出規制(5mg/L)

水質汚染防止法: 油分排出規制(5mg/L)

ノルマルヘキサン抽出分として検出される。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律: 産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

記載内容の取扱い

この記載内容は現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。法令の改正及び新しい知見に基づいて予告なく改訂されることがあります。本製品安全データシートは、安全の保証書ではありません。本製品の通常の取扱いを対象とし、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者へ提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。